

先生各位

新規検査項目のご案内

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素はひとかたならぬお引き立てを賜わり厚くお礼申し上げます。

さて、このたび新たに下記項目の受託を開始することになりましたので、ご案内申し上げます。今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

敬白

記

《受託開始日》 平成 15 年 6 月 9 日 (月) 受付分より

《検査要項》

検査項目名称	尿中レジオネラ抗原
検査コード	5 7 4 3
検体量	尿 1 m l
容器・保存	U - 2 凍結
実施料 (判断区分)	2 3 0 点 (免疫) *
所要日数	5 ~ 1 1 日
検査方法	E I A 法 (E L I S A 法)
基準値	陰性
備考	同一容器での重複依頼は避けてください

* 尿中レジオネラ抗原は、症状や所見からレジオネラ症が疑われる患者に対して、E L I S A 法により実施した場合に限り、区分「D 0 1 2」感染症血清反応の「2 3」に準じて、一回を限度として算定する。

【概要】レジオネラ症では、通常の肺炎の初期治療によく用いられる - ラクタム系薬剤が無効なため、発症後すみやかに確定診断し、本症に有効な薬剤を早期に投与することが重要です。有効な抗菌薬で早期に治療されなかった場合には、急速な症状の悪化を招くことがあるため、早期診断の必要性が高い感染症です。

「尿中レジオネラ抗原」は、肺炎発症の初期から陽性となる場合が多いため、特に早期診断に有効な検査項目です。しかし、症例によっては陽性を示さない場合もあり、注意が必要です。また検体が尿であるため、他の検体採取が困難な症例でも容易に採取できます。